

アカメイヌビワ

か めい
科名 クワ

べつ めい
別名 コウトウイヌビワ
ハルランイヌビワ

がく めい
学名 *Ficus bengutensis*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶん
分 布 か ごしま さまみ おおしまい なん おきなわ たいわん
鹿児島 (奄美大島以南)、沖縄、台湾、
フィリピン

は かたち
葉 の 形 だ えんけい ちょうだ えんけい
楕円形、長楕円形

は ふち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えいけい
鋭形

は しゆるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は きぶ えんけい
葉 の 基部 円形

み しゆるい じょうか
実 の 種類 イチジク 状果

は な がくいろ
花 ・ 萼 色

せつ せい
説 明 かいがんちか はやし てい ち せいいく たか じょうりよく き わか えだ は あか
海岸近くの林や低地に生育し、高さ5-7mの常緑の木です。若い枝や葉が赤いことか
らアカメイヌビワの名前がつけられたそうです。葉は楕円形で葉先は鋭形です。実(花囊)は球形
で、枝先や幹にもつきます。枝先や葉柄には荒い毛があります。雌雄異株。